

県医師連盟機関紙

第11号

発行責任者  
県医師連盟委員長 池田琢哉

平成22年6月8日

# 鹿児島県医師連盟新聞

編集・発行

鹿児島県医師連盟

鹿児島市中央町8-1

電話 099-213-1011

FAX 099-213-1012

印刷 南日本新聞開発センター

## 参院議員選比例区代表候補 西島氏推薦を機関決定

### 国民医療支えた実績を評価



九州医連連絡会執行委員会の来賓として来鹿した西島参院議員(右)を迎え、力強く握手する池田県医師連盟委員長(左) 5月22日

鹿児島県医師連盟(池田琢哉委員長)は、さる5月14日の執行委員会で「6月24日公示、7月11日投票」が予想されている参院議員選の比例区代表候補に、自民現職で立候補を表明している西島英利氏推薦を機関決定。各郡市医師連盟に後援会加入など支援活動強化を要請した。九州医師連盟(委員長・池田鹿児島県医連委員長)も西島氏推薦を決め、各県医連に支援協力依頼の文書を送付した。

県医連は西島参院議員を招へい、7月3日午後6時30分から県医師会館4階大ホールで総決起集会を開催して支持を呼びかける。

西島氏は国民皆保険制度堅持を基本理念に「混合診療の導入阻止」「医療費の総額管理阻止」など、国民サイドに立った国会活動を展開。県医連はこうした人としての実績を評価し、人間本位で応援している。

参院議員選

# 医療の安心・安定のために 〈鹿児島県医師連盟推薦候補〉

## 西島英利氏が5つの約束



九州医連連絡会執行委員会であいさつする西島先生(中央) 5月22日鹿児島市の城山観光ホテル

### 西島先生のメッセージ

平成16年7月、先生方の熱いご支援により国政に送り出させていただきました。この間、混合診療導入の阻止、軽度低額医療についての保険免責導入の阻止、医師免許の更新制の阻止、医療法改正の21項目の附帯決議提案、医師不足対策のための医学部定員の増員、新臨床研修医制度の見直し、年金・医療等に対する2,200億円削減の中止など、数々の医療を取り巻く政治課題に取り組んで参りました。

医療崩壊が叫ばれる今、未だ解決すべき課題が山積しております。これまでの6年間の実績と医師としての専門性を活かし、引き続き国政の場で山積する課題に取り組み参りたく活動を展開いたしております。医療提供者が安心して医療を提供でき、国民が安心して医療を受けることができる環境づくりに全力を傾注して参る決意でございますので、引き続きのご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。

平成22年5月吉日

### ① 国民皆保険制度を守り抜く

高度医療も保険治療に指定し、多くの症例を重ねることによって、コストのかからない安全な治療へと変化させることが可能であると考えます。国際的に高く評価されている日本の国民皆保険制度を守り抜くために医療財源を確保します。

### ② 安心・納得の医療環境づくり

死因究明制度をはじめ、国民が安心して医療を受けることができる環境づくり、医療関係者が安心して医療を提供できる環境づくりに全力で取り組みます。

### ③ 医師研修システムの構築

日本の大学医学部は封建的と揶揄される反面、医療サービスの品質を高く保ってきたシステムとしては再評価すべきではないでしょうか？医療研究機関と開業医をつなぐ研修所などを整備し、伝統的な日本の医療システムの良さを生かす仕組みを構築します。

### ④ 医療機関に対する税負担の減免

医療機関は社会資本のひとつとして公的な要素が強く、治療行為以外の用途への転用はできないものです。社会サービスの向上のために消費税、事業税など医療に関わる課税を減免することを求めます。

### ⑤ 医療従事者への所得補償制度の導入

医療を支えるために医療従事者の所得補償制度を導入し、安定した生活基盤の上で良質な医療を行えるよう行動します。

### 西島先生のプロフィール

- 昭和23年4月7日生まれ
- 昭和52年 日本医科大学医学部卒業
- 昭和59年 医療法人小倉浦生病院・小倉南看護専門学校理事長
- 平成2年 北九州市小倉医師会理事
- 平成6年 北九州市医師会理事
- 平成10年 日本医師会常任理事
- 平成16年7月 参議院議員初当選(全国比例区)
- 平成18年1月 参議院災害対策特別委員会理事
- 平成18年10月 参議院自由民主党国会対策副委員長
- 平成19年9月 自由民主党国会対策副委員長
- 平成20年2月 与党鳥由来新型インフルエンザ対策に関するプロジェクトチーム委員
- 平成21年10月 参議院予算委員会委員
- 参議院厚生労働委員会委員
- 平成21年12月 自民党厚生労働部会・診療報酬ワーキンググループ 主査